

**塩酸メチルフェニデート**  
methylphenidate hydrochloride

**リタリン** (ノバルティス), 錠  
10mg, 散 1%

**【適応 (効能・効果)】** ナルコレプシー, 抗うつ薬で効果の不十分な難治性うつ病, 遷延性うつ病に対する抗うつ薬との併用

**【用法・用量】** ①ナルコレプシー: 1日 20~60mg, 1~2回に分経口投与 ②難治性うつ病, 遷延性うつ病: 1日 20~30mg, 2~3回に分経口投与

**【臨床成績】** ナルコレプシーに対する有効率は 89.6%

**【薬効薬理】** ①中枢興奮作用 ②自発運動に及ぼす影響 ③睡眠に及ぼす影響

**【薬物動態】**  $T_{1/2}$ : 約 7 時間, 排泄: 尿中排泄 50% (8 時間まで), 同 90% (48 時間まで)

**【薬物代謝】** 尿中の主要代謝産物は脱エステル化体で主に尿中排泄

**【禁忌 (配合禁忌も含む)】** ①過度の不安, 緊張, 興奮性のある患者 ②緑内障のある患者 ③甲状腺機能亢進のある患者 ④不整頻拍, 狭心症のある患者 ⑤本剤成分過敏症 ⑥運動性チック, Tourette 症候群の患者又はその既往歴・家族歴のある患者 ⑦重症うつ病の患者

**【原則禁忌】** 6 歳未満の幼児

**【慎重投与】** ①てんかん又はその既往歴 ②高血圧

**【併用注意】** ①昇圧剤 ② MAO 阻害剤 ③クマリン系抗凝血剤 ④抗痙攣剤 (フェノバルビタール, フェニトイン, プリミドン) ⑤三環系抗うつ剤 (イミプラミン等) ⑥グ

アネチジン ⑦アルコール

**【重大な副作用】** ①剥脱性皮膚炎 ②脳動脈炎及び梗塞, 狭心症 ③悪性症候群 (Syndrome malin)

**【副作用】** 口渇 (32.9%), 頭痛 (14.8%), 発汗 (24.3%), 食欲減退 (16.9%), 頭痛・頭重, 注意集中困難, 神経過敏, 不眠, 眠気, 口渇, 食欲不振, 胃部不快感, 便秘, 悪心・嘔吐, 下痢, 口内炎, 心悸亢進, 不整脈, 排尿障害, 性欲減退, 発汗, 筋緊張 (5%以上)

**【妊婦・授乳婦】** 妊婦: 投与しないことが望ましい, 授乳婦: 授乳回避

**【小児・高齢者への影響】** ① 6 歳未満の幼児には投与しないこと ② 小児に長期投与した場合, 体重増加の抑制, 成長遅延, 高齢者: 慎重投与

**【特記事項】** ①重要な基本的注意 (1) 覚醒効果があるので, 不眠に注意し, 夕刻以後の服薬は原則として避けさせること (2) 連用により薬物依存を生じることがあるので, 特に薬物依存, アルコール中毒等の既往歴のある患者には慎重に投与すること (3) 自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させないように注意すること ②過量投与: 主に中枢神経系の過剰刺激及び過度の交感神経興奮に起因する諸症状 (嘔吐, 激越, 振戦, 反射亢進, 筋攣縮, 痙攣, 多幸感, 錯乱, 幻覚, せん妄, 発汗, 潮紅, 頭痛, 高熱, 頻脈, 心悸亢進, 不整脈, 高血圧, 散瞳など). 症状に応じた支持療法を行う. 自己損傷の防止, 過剰刺激症状をさらに悪化させる外部刺激の排除に留意. 重篤でなく, 意識

がある場合には催吐あるいは胃洗浄によって胃内容物を除去. 重篤な場合は胃洗浄の前に短時間作用型バルビツール酸系薬剤を用量に注意し投与. 血液循環と呼吸の維持に集中治療を行う. 高熱に対しては物理的な解熱処置. リタリン過量服用に対する腹膜透析, 血液透析の有効性は確立していない

③適応外疾患 [注意欠陥多動性障害 (ADHD)] に対する投与で, 全身痙攣が報告されている ④海外において, 器質的心疾患を有する小児に対する中枢神経興奮剤 (アンフェタミン, メタンフェタミン, メチルフェニデート等) の投与例で, 突然死が報告されている